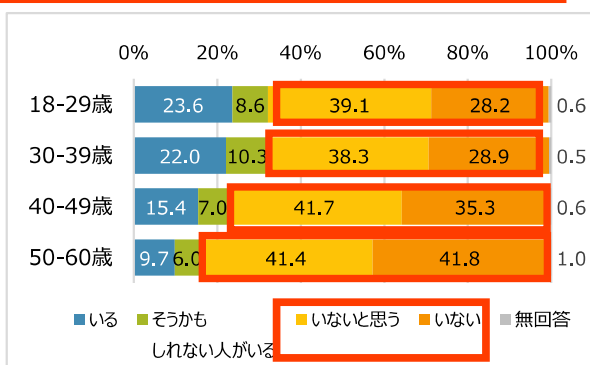


「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」報告書（抜粋）
 2019年11月 「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム編

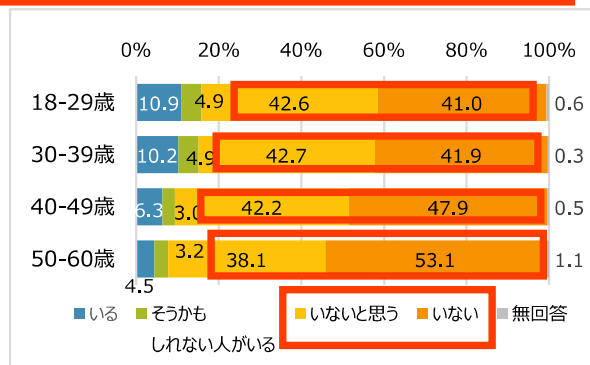
年齢別にみた、周りに同性愛者【問 49】や性別を変えた人【問 50】がいるか

周りに同性愛者や性別を変えた人があるか否かについての回答を年齢別にみると、若い年齢層ほど、「いる」という割合が高い傾向がみられます。たとえば「同性愛者」が「いる」と答えた割合は、50代では1割未満（9.7%）であるのに対し、18～29歳では23.6%です。「性別を変えたあるいはそうしようと考えている人」についても同様に、50代では4.5%、40代では6.3%ですが、30代以下では1割前後（30-39歳10.2%、18-29歳10.9%）です。

図表 49-b 年齢別にみた、周りに同性愛者がいるか否かの分布



図表 50-b 年齢別にみた、周りに性別を変えた人がいるか否かの分布



※[18-29歳 n=678、30-39歳 n=1,021、40-49歳 n=1,229、50-60歳 n=1,274]

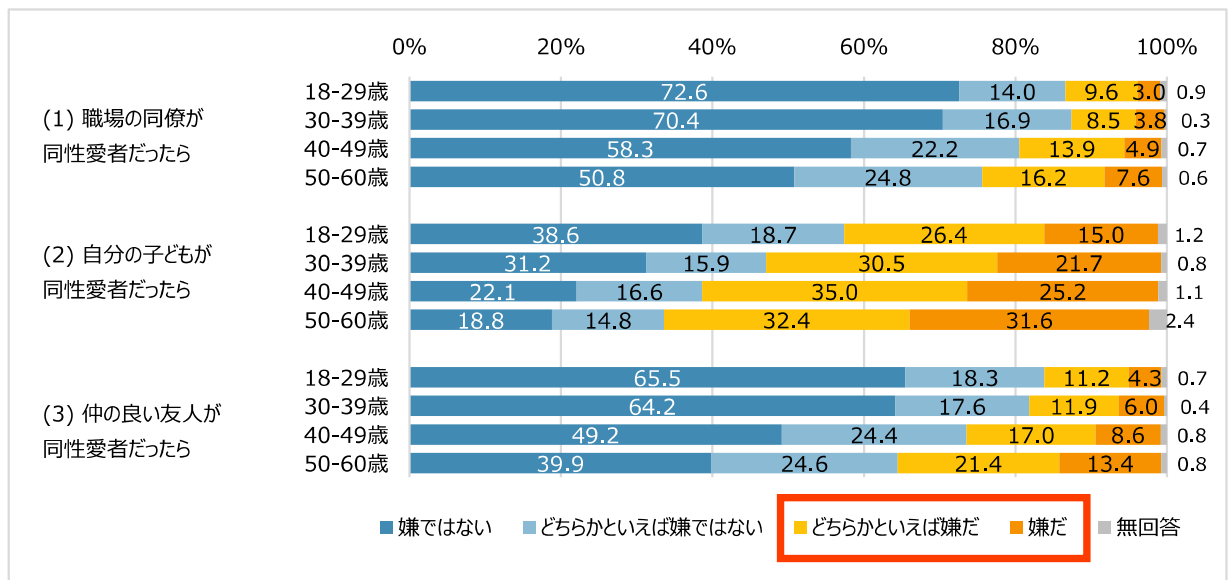
※ は大分県による追記

年齢別にみた、身近な同性愛者や性別を変えた人についての考え方【問 43】

図表 43-b1 には身近な人が同性愛者だった場合の考えを、図表 43-b2 には身近な人が性別を変えた人の場合の考えを年齢別にまとめました。若い年齢層ほど、「嫌ではない」または「どちらかといえば嫌でない」と回答する割合が高く、また、どの年齢層でも、その割合は同僚でもっとも高く、次いで友人、自分の子どもの順となっています。自分の子どもが同性愛者だったら「嫌ではない」または「どちらかといえば嫌でない」と回答する割合は、40代（38.7%）と50代（33.6%）でとくに低い値を示しています。自分の子どもが性別を変えた人だったら「嫌ではない」または「どちらかといえば嫌でない」と回答する割合も同様に18-29歳を除く年齢層では半数未満で、50代では38.2%です。

図表 43-b1 年齢別にみた、身近な人が同性愛者だったらどう思うかの分布

[18-29歳 n=678、30-39歳 n=1,021、40-49歳 n=1,229、50-60歳 n=1,274]



図表 43-b2 年齢別にみた、身近な人が性別を変えた人だったらどう思うかの分布 [n は図表 43-b1 と同様]

